

す く す く 通 信 第1号

「無洗米JAなす南栃木県産こしひかり新登場記念 田植え泥んこキャンペーン」に当選された皆様に、5月28日（土）に田植え体験をして頂きました、栃木県那須烏山市（JAなす南）の「田んぼ」の様子をご紹介します！（田植え後45日目の様子です）



7月に入り梅雨空が続いていますが、この日は貴重な晴れ間がのぞきました！  
稲は順調に生長中で、稲と青空のコントラストが非常にきれいです。

草丈約70cmまで生長し、約12、3cmだった田植え時の苗は1ヶ月半でここまで生長します。



梅雨のこの時期田んぼではどのような作業が行われているのでしょうか？  
通常田植え以降田んぼには水が張られていますが、この時期一度田んぼの水を全て抜く作業をします。これを「中干し」と呼びます。

水を抜くことで、土や根に酸素を送り根の張りを良くしたり、無効分げつ（過剰な枝分れ）を抑え強い稲にする効果があります♪



那須烏山市内の風景です。  
田んぼの背後には緑豊かな山々がそびえ、空気も澄んでいます♪

自然豊かな環境で、稲はすくすく育っています。夏を乗り越え、一面黄金色になる田んぼが楽しみです♪